

欧州特許庁の次期副長官にミノエ氏とルッツ氏を任命

2010年10月29日

JETRO デュッセルドルフセンター

欧州特許庁 (EPO) は、10月27日、欧州特許機構 (EPOr) の管理理事会 (Administrative Council) が、DG1 の次期副長官としてギョーム・ミノエ氏 (Guillaume W. Minnoye, ベルギー, 62歳) を、DG5 の次期副長官としてライモンド・ルッツ氏 (Raimund Lutz, ドイツ, 60歳) を任命した旨、プレスリリースを行った。

ミノエ氏は、EPO が設立される前の1971年、EPO ハーグオフィスの前身である国際特許機関において電気通信技術の審査官として経歴をスタートさせ、1997年以降は DG1, 2, 4 の様々な部署において上級課長を歴任した。トーマス・ハマー氏の後任として DG1 の副長官に就任し、特許審査と異議手続を担当する。

ルッツ氏は、ドイツ連邦司法省やドイツ特許商標庁の要職を歴任した後、2006年5月からはドイツ連邦特許裁判所の長官を務めていた。ヴィム・ファンデルアイク氏の後任として DG5 の副長官に就任し、法務、特許法、国際関係を担当する。

なお、就任の時期について本プレスリリースでは明記されていない。

(参考) EPO の新幹部構成

長官：ブノワ・バティステリ (フランス)

副長官 DG1 (審査部)：ギョーム・ミノエ (ベルギー)

DG2 (審査支援部)：ペーター・ファーメイ (オランダ)

DG3 (審判部)：ペーター・メッサーリ (スイス)

DG4 (総務部)：ブライアン・マギンリー (アイルランド)

DG5 (法務・国際部)：ライモンド・ルッツ (ドイツ)

— EPO のプレスリリースおよびミノエ氏とルッツ氏の CV は、以下参照 —
[New Vice-Presindets Appointed](#)

(以上)